

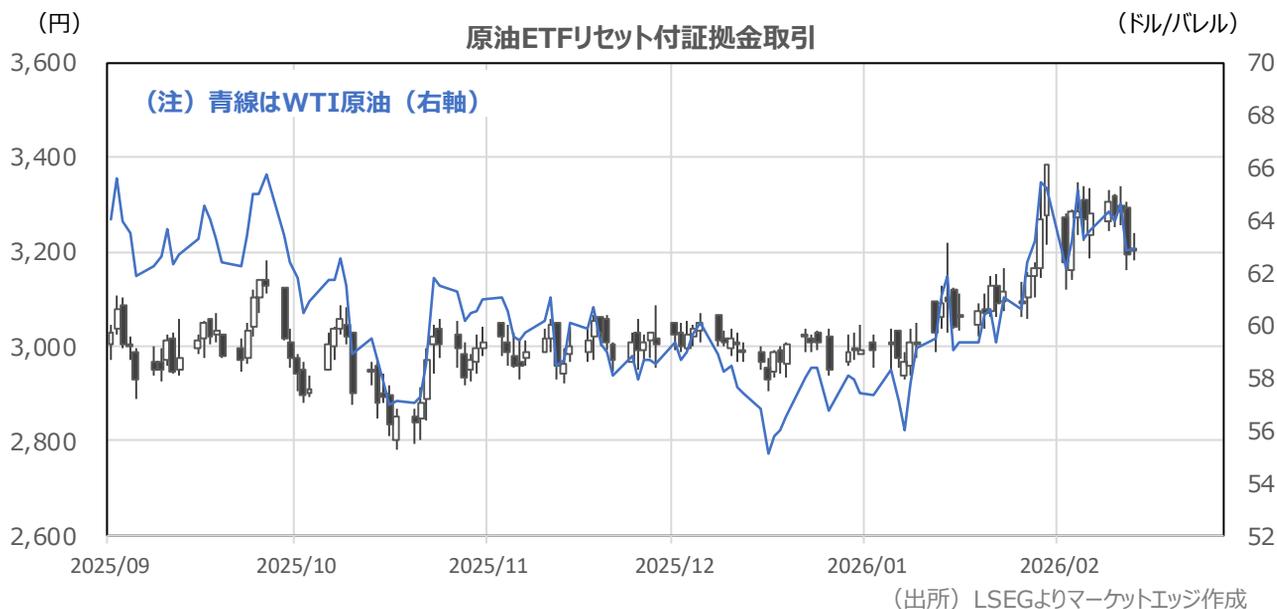
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/02/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イラン情勢の見極めでボックス相場が続く

NY原油先物相場は、1バレル=62.00~66.00ドル水準で売買が交錯する展開になった。イラン情勢が注目を集めているが、リスク評価が定まらず、明確な方向性を打ち出せなかった。2月8日に米国とイランが核問題を巡る高官級協議を行い、トランプ米大統領は交渉による合意を目指す姿勢を見せたことは地政学リスクのプレミアム剥落を促したためネガティブ。一方で交渉期間は1か月以内とされており、合意形成ができなかった場合には軍事力行使の可能性も示唆している。この結果、売買が交錯する不安定な地合が続き、レンジ相場が続いた。1月29日の66.48ドルで上げ一服となっているが、60ドル割れを試すような動きはみられなかった。

国際エネルギー機関（IEA）は2月12日発表の月報で、2026年の世界石油需要見通しを日量85万バレル増とし、前月の日量93万バレル増から下方修正した。また、2025年は世界の石油在庫が4億7,700万バレル（平均で日量130万バレル）増加したと報告した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（2月6日時点）は、原油が前週比853万バレル増、ガソリンが116万バレル増、石油精製品が270万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

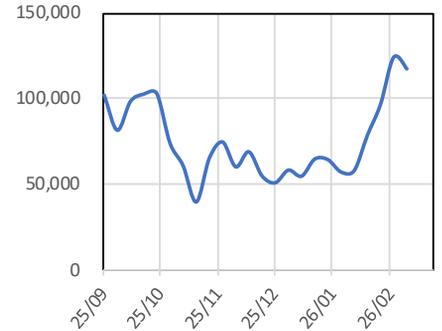
【展望】

イラン情勢の見極めが続く、売買が交錯しやすい

今週もイラン情勢が注目される地合が続こう。米国とイランの間では核問題を中心に対立が激化しているが、どのような展開を見せるのかは、予見可能性が極めて低い。前週は2回目の高官級協議が開催されなかったが、両国の間でどのような駆け引きが行われるのかに強く依存する展開になろう。ただし、合意に向かうのか軍事紛争に発展していくのか明確な見通しを描けない場合には、このまま最近の60ドル台前半から中盤にかけての取引が続く見通しだ。仮に合意形成の見通しが強まると、60ドル割れを打診する可能性が高まる。一方、協議が決裂して米軍がイランに対する攻撃に踏み切るとの見通しが強まると、60ドル台後半を打診する可能性が高まる。短期目線では、イラン情勢をみながらの不安定な地合が続く可能性が高い。

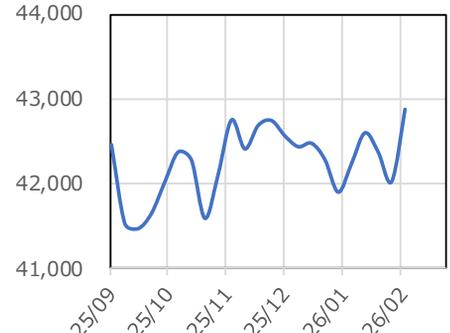
一方、中東全体が戦火に見舞われるようなことがなければ、いずれにしても一時的な上昇リスクとの評価に留まる。前週に発表された国際エネルギー機関（IEA）月報でも、2025年に続いて26年は大規模な供給余剰が発生する見通しであり、いずれかの時点で指標原油の受渡地の在庫も増加する見通しが示されている。2025年に続いて世界石油需要の伸びは抑制される見通しの一方、供給量は日量240万バレル増が想定されている。石油輸出国機構（OPEC）プラスは1～3月期に減産縮小（＝増産）を一時停止しているが、3月1日の会合では4月に改めて減産縮小を開始することを合意すると予想されている。このため、大規模な供給障害が発生しなければ需給圧力が原油相場を圧迫する展開が続く見通しだ。その中で、地政学リスクに起因した短期上昇圧力を消化していく展開が想定される。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



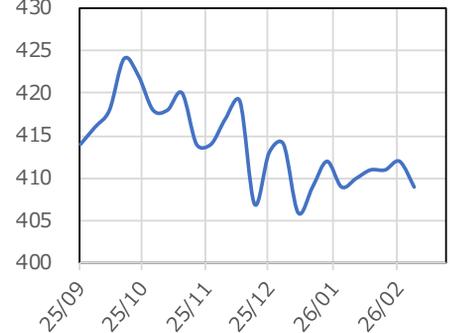
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

